

# 工事車両の入場・退場手順書

## 規制内への入場

- ① 工事予告標識（車線規制は1km、路肩規制0.5km）を確認したら回転灯を点灯し、後方一般車両に注意を促し一般車両に影響を与えないように徐々に減速する。
- ② 規制テーパー部手前で、ハザードを点灯し規制区間を走行する。 その際、後方一般車両との間隔に十分注意する。
- ③ 進入口の手前 約100mの箇所（誘導員が視認できる距離）で、ウインカーに切り替え、誘導員の指示で必ず誘導員の下流側から規制内に入る。
- ④ 規制内進入後、再度ハザードに切り替え、追突防止の措置としてある程度前進して停車する。

## 入口誘導方法

- ① 入口誘導員は進入する工事用車両を発見したら黄旗（夜間は赤色灯）を身体の前面で大きく円を描くように回し車両入口の位置を示す。
- ② ラバコーンを1個取り上流側に移動する。
- ③ 工事用車両の流入直後、後続車に対し誤侵入防止のために進行方向を手で示す。
- ④ ラバコーンを元の位置に戻す。

## 規制内からの退場

- ① 回転灯、ハザードを点灯し退出口まで徐行しながら進む（退出は安全上、可能な限り規制終了点部から行う）
  - ② 退出口手前でウインカーに（規制終了箇所ではハザードに）切り替え、誘導員の指示に従い退場する。  
なお、運転手は再度自分の目でも確認する。
  - ③ 誘導員の合図で、規制外へ退場し交通流にのるまでは回転灯、ハザードを点灯し、交通流にのった後に消灯する。
- \* 規制端部ではなく中間から流出する際はゼロ発進であることの危険を運転手・誘導員に指導し一般通行車との間隔が十二分に開いてから退出の合図を行うようにします。

## 出口誘導方法

- ① 出口誘導員はラバコーンを1個とり上流側に移動させ最終車両通過確認後工事用車両を本線に誘導する。  
誘導する際は事前に、工事用車両運転手と合図の方法等の打ち合わせを必ず行う。  
「ピッ・ピッ・ピッ・ピーー」  
**3 2 1 GO**
- ② 誘導終了後、ラバコーンを元の位置に戻す